R—6 Ⓐ

数　　　学

（数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲ，数A，数B）

9：00〜11：00

注　　　意

1. 試験開始の合図があるまで，この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙は3ページある。
3. 解答用紙は

解答用紙番号	
数学0—1	（問1用），
数学0—2	（問2用），
数学0—3	（問3用），
数学0—4	（問4用），
数学0—5	（問5用）の5枚である。

4. 解答用紙は5枚とも全部必ず提出せよ。
5. **受験番号および座席番号（上下2箇所）は，監督者の指示に従って，すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。**
6. 各問に対する解答は，それぞれ3で指定された解答用紙に記入せよ。ただし，裏面を使用してはならない。
7. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
8. 問題紙の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
9. 下書き用紙は回収しない。

解　答　上　の　注　意

採点時には，結果を導く過程を重視するので，必要な計算・論証・説明などを省かずに解答せよ。

◇M10(265—100)

$\boxed{1}$ t を実数とし，xy 平面上の点 $\mathrm{P}(\cos 2t, \cos t)$ および点 $\mathrm{Q}(\sin t, \sin 2t)$ を考える。

(1) 点 P と点 Q が一致するような t の値をすべて求めよ。

(2) t が $0 < t < 2\pi$ の範囲で変化するとき，点 P の軌跡を xy 平面上に図示せよ。ただし，x 軸，y 軸との共有点がある場合は，それらの座標を求め，図中に記せ。

$\boxed{2}$ 各面に 1 つずつ数が書かれた正八面体のさいころがある。「1」,「2」,「3」が書かれた面がそれぞれ 1 つずつあり，残りの 5 つの面には「0」が書かれている。このさいころを水平な床面に投げて，出た面に書かれた数を持ち点に加えるという試行を考える。最初の持ち点は 0 とし，この試行を繰り返す。例えば，3 回の試行を行ったとき，出た面に書かれた数が「0」,「2」,「3」であれば，持ち点は 5 となる。なお，さいころが水平な床面にあるとき，さいころの上部の水平な面を出た面とよぶ。また，さいころを投げるとき，各面が出ることは同様に確からしいとする。

(1) この試行を n 回行ったとき，持ち点が 2 以下である確率を求めよ。ただし，n は 2 以上の自然数とする。

(2) この試行を 4 回行って持ち点が 10 以上であったときに，さらにこの試行を 2 回行って持ち点が 17 以上である条件付き確率を求めよ。

$\boxed{3}$ 次の問に答えよ。

(1) α を実数とする。次のように定められた数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$a_1 = \alpha, \qquad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + 1 \qquad (n = 1,\ 2,\ 3,\ \cdots\cdots)$$

(2) 関数 $f_1(x), f_2(x), f_3(x), \cdots\cdots$ を次の関係式で定める。

$$f_1(x) = 3x$$
$$f_{n+1}(x) = (n+2)x^{n+1} + \left(\int_0^1 f_n(t)\,dt\right)x \qquad (n = 1,\ 2,\ 3,\ \cdots\cdots)$$

関数 $f_n(x)$ を x と n の式で表せ。

$\boxed{4}$ 三角形 OAB が，$|\overrightarrow{\mathrm{OA}}| = 3$，$|\overrightarrow{\mathrm{AB}}| = 5$，$\overrightarrow{\mathrm{OA}} \cdot \overrightarrow{\mathrm{OB}} = 10$ をみたしているとする。三角形 OAB の内接円の中心を I とし，この内接円と辺 OA の接点を H とする。

(1) 辺 OB の長さを求めよ。

(2) $\overrightarrow{\mathrm{OI}}$ を $\overrightarrow{\mathrm{OA}}$ と $\overrightarrow{\mathrm{OB}}$ を用いて表せ。

(3) $\overrightarrow{\mathrm{HI}}$ を $\overrightarrow{\mathrm{OA}}$ と $\overrightarrow{\mathrm{OB}}$ を用いて表せ。

$\boxed{5}$ 関数

$$f(x) = x\log(x+2) + 1 \qquad (x > -2)$$

を考える。$y = f(x)$ で表される曲線を C とする。C の接線のうち傾きが正で原点を通るものを ℓ とする。ただし，$\log t$ は t の自然対数である。

(1) 直線 ℓ の方程式を求めよ。

(2) 曲線 C は下に凸であることを証明せよ。

(3) C と ℓ および y 軸で囲まれた部分の面積を求めよ。